

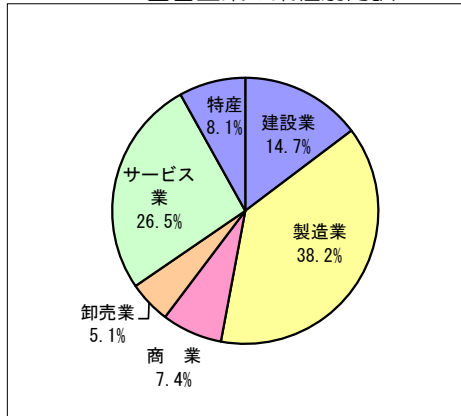
# 小野商工会議所会員事業所 景気調査（2021年第2四半期）集計結果

2021年8月6日

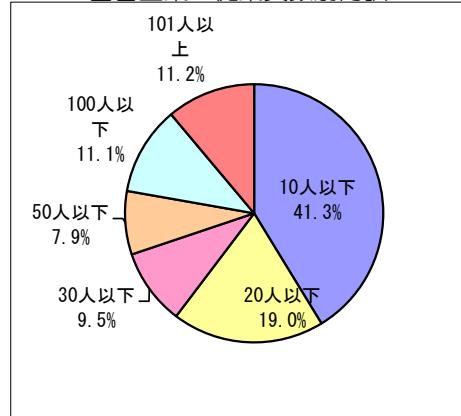
アンケート回答企業数 136社 （アンケート送付数 215社）  
 回収率 63.3%

調査対象期間 2021年4月～6月  
 比較対象期間 前年同期 2020年4月～6月  
 前期 2021年1月～3月  
 来期 2021年7月～9月

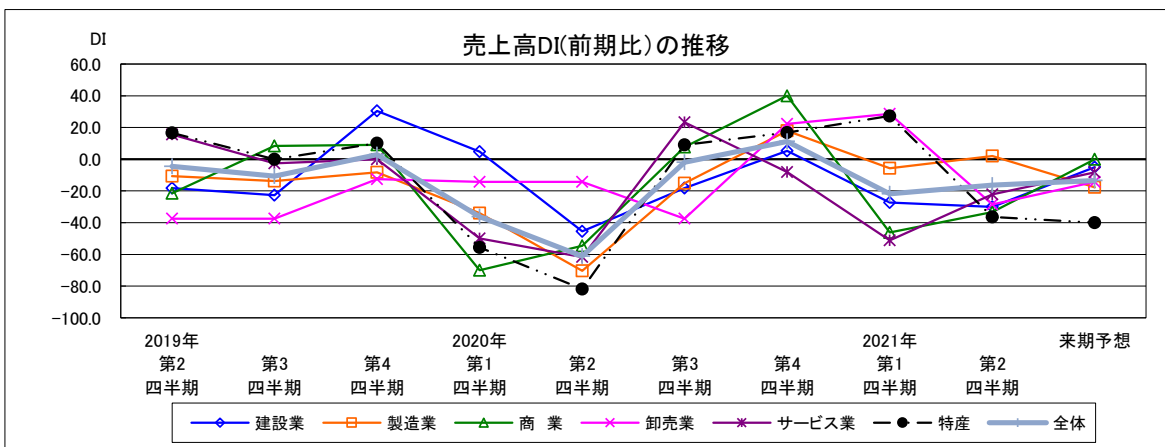
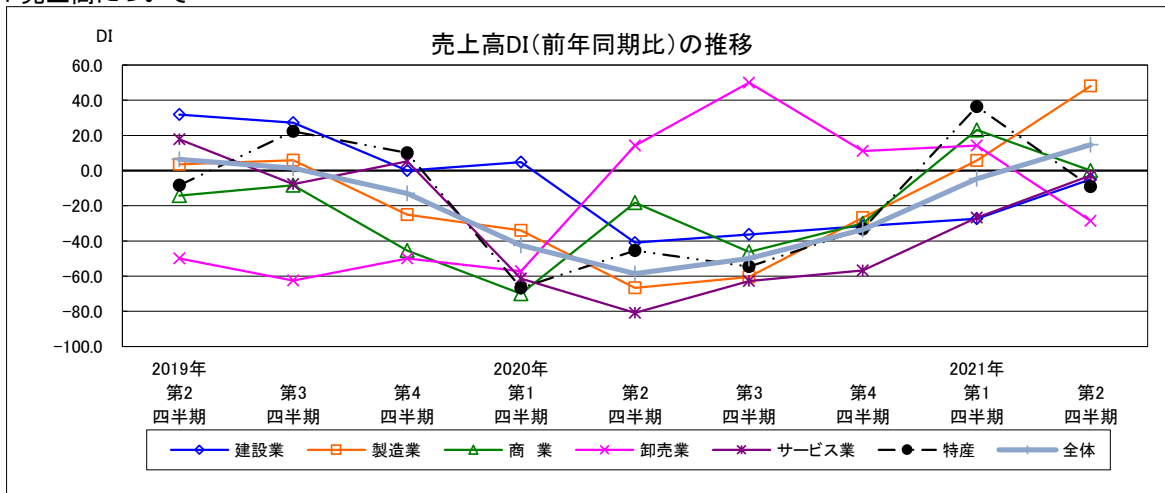
回答企業の業種別内訳



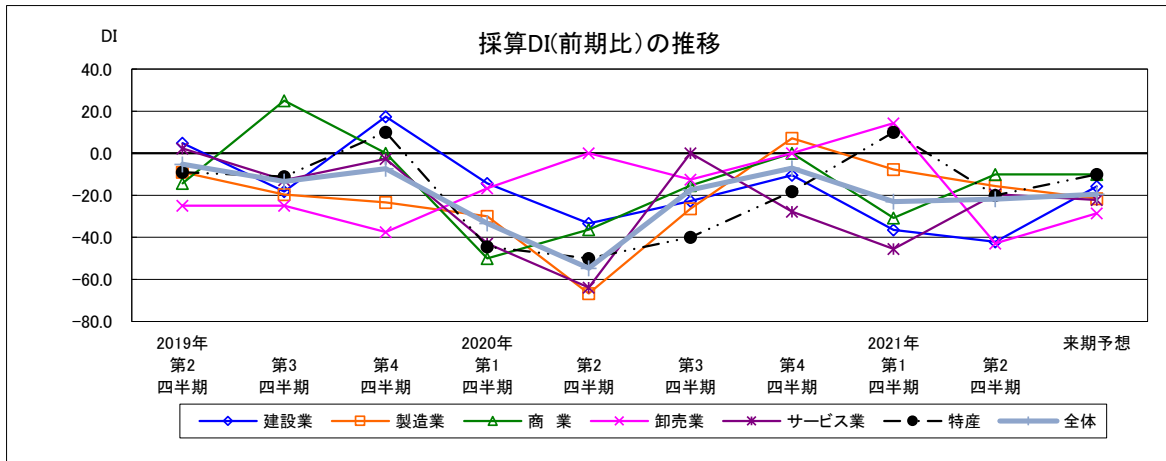
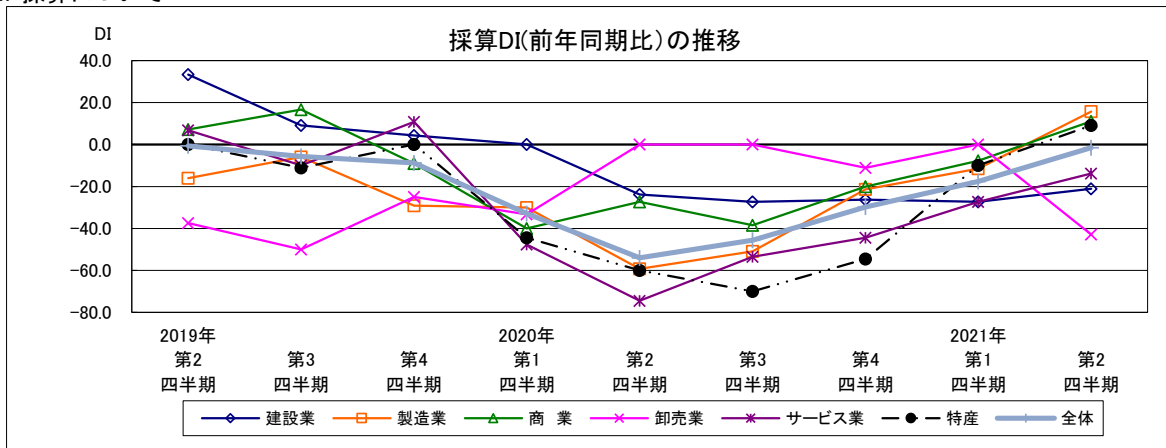
回答企業の従業員数別内訳



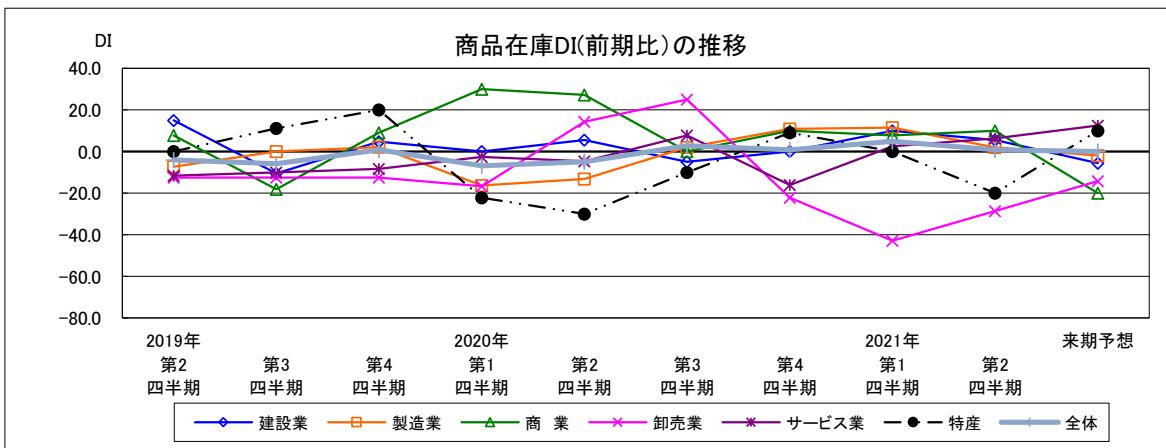
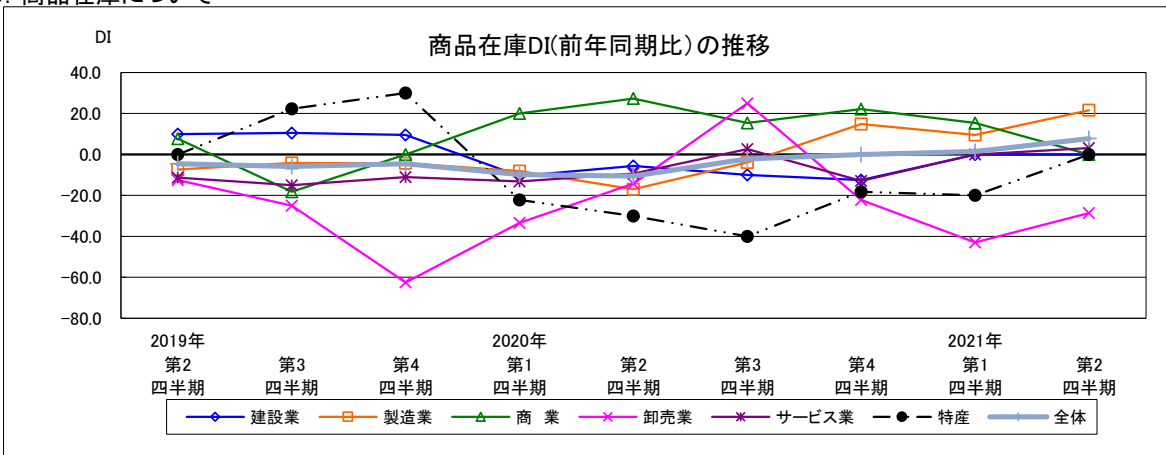
## 1. 売上高について



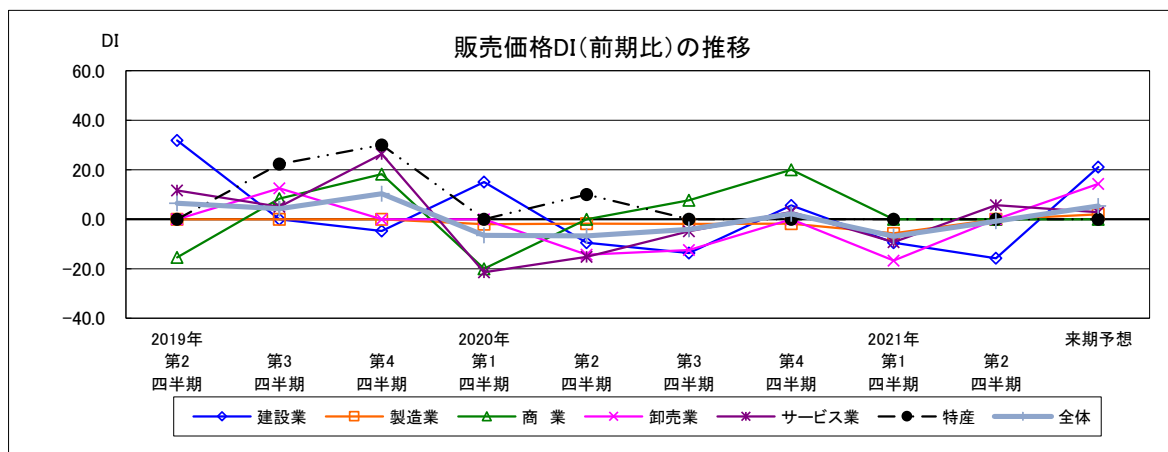
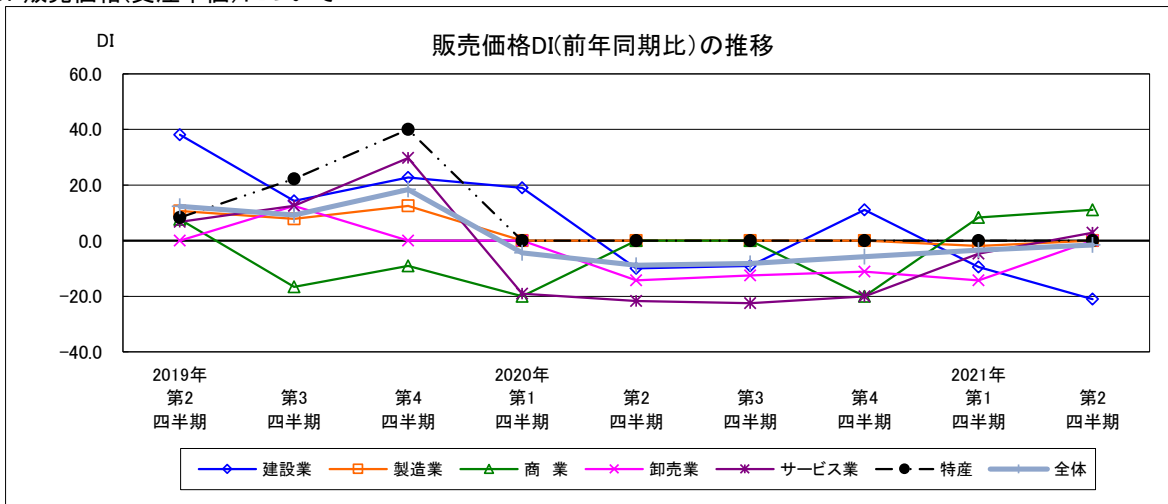
## 2. 採算について



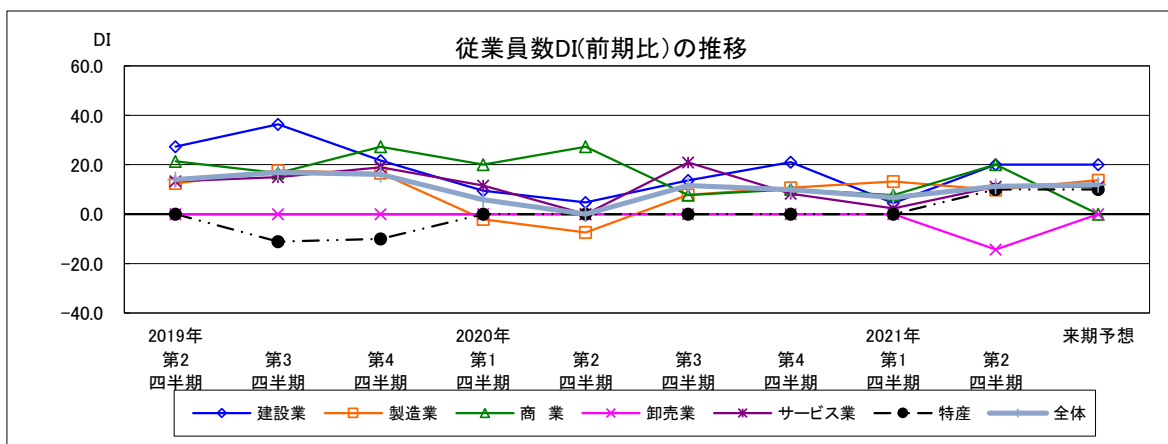
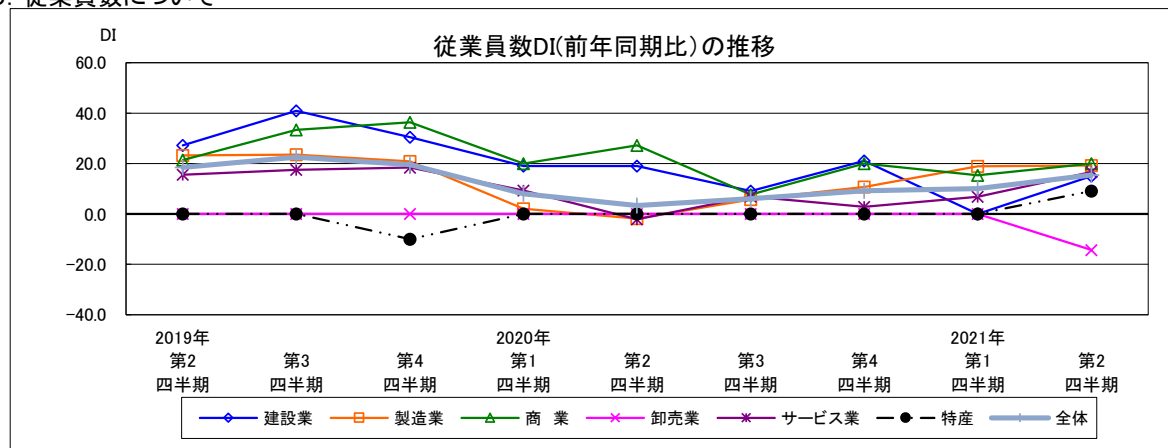
## 3. 商品在庫について



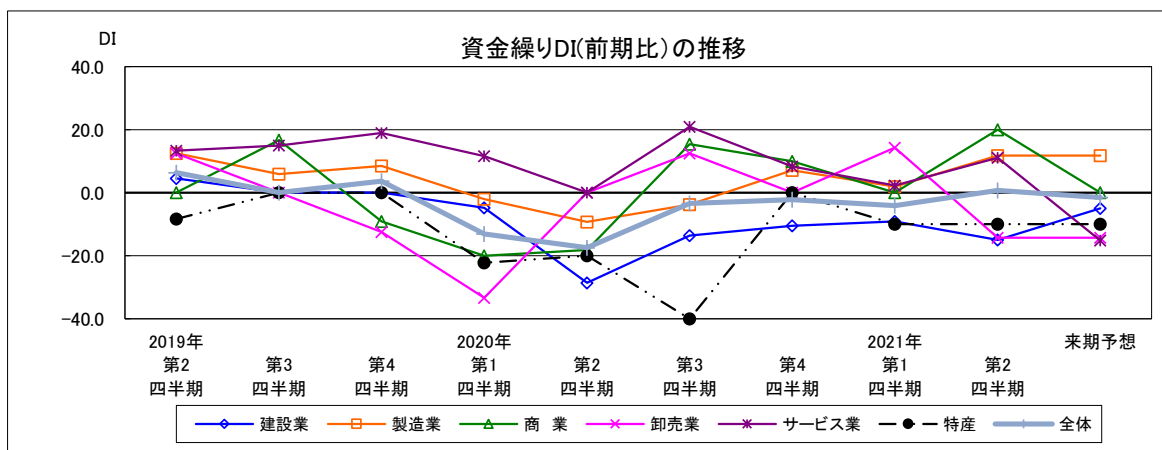
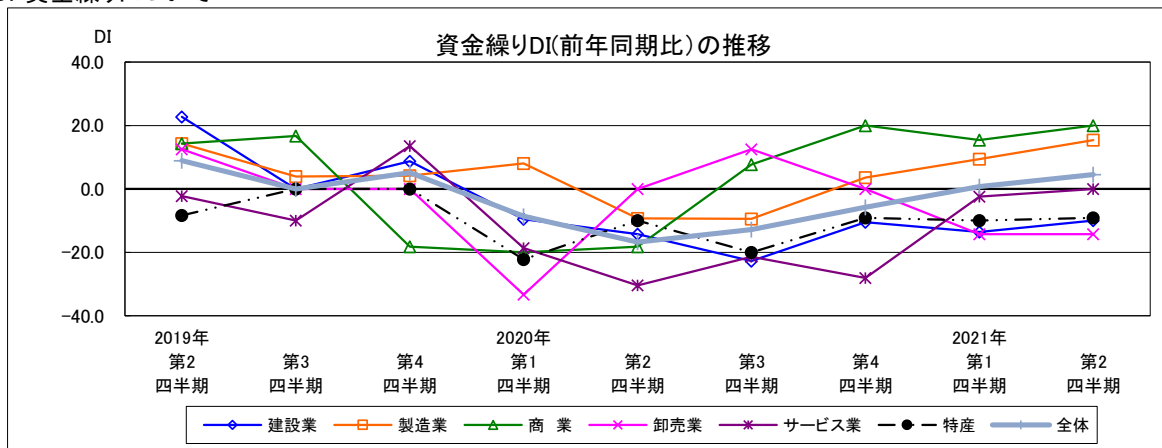
4. 販売価格(受注単価)について



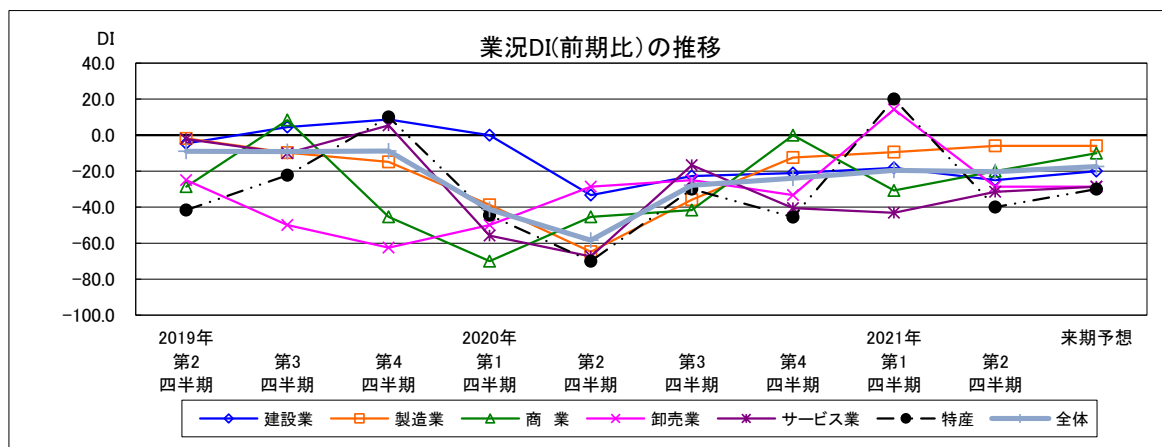
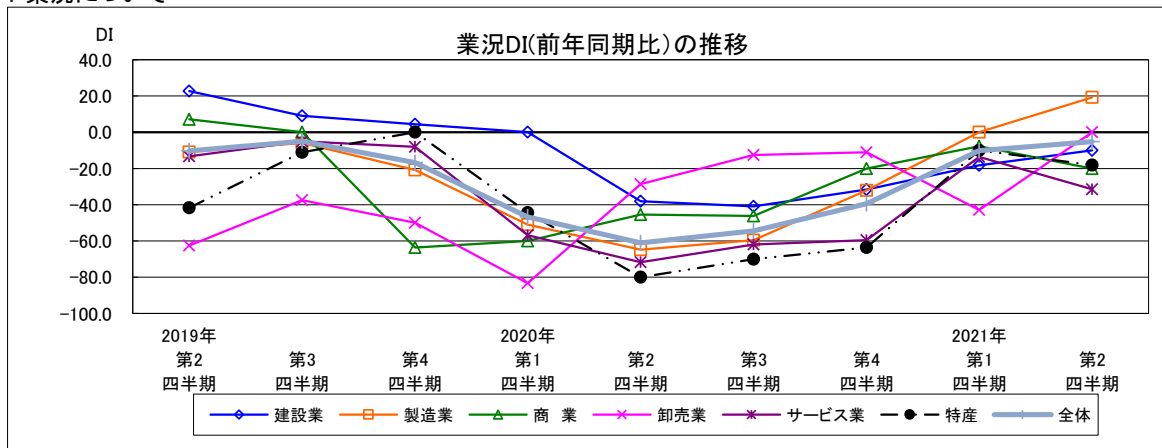
5. 従業員数について



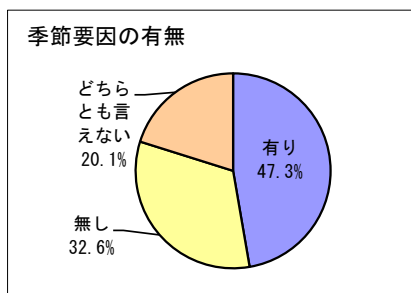
6. 資金繰りについて



7. 業況について



1～7の項目について季節要因による変動はありますか。



8. 以下は、頂いたコメントの一部を紹介しています。

○建設業

- 原材料の仕入れ価格が上昇しており、従来の販売価格では、採算が取れない状況にある。得意先に取引価格の改定をお願いしているところである。コロナの悪影響がないが不安要素が多い。
- 4月より製造原材料の値上げがあり採算に影響している
- 季節要因による売上減少に加えて、資材の高騰で先行き不安。しかし入札物件、受注残工事も多く、短期人材不足、工期圧縮が予想される。
- 官公庁工事が堅調であり、民間工事も復調の兆しです

○製造業

- コロナ禍によるレジャー向け・イベント向け用途減少、プラスチック環境問題、カーボンニュートラル対応
- 国内材料調達難。材料高騰。海洋プラ問題。
- 油の値上がりが今後、影響がありそうです。
- 大手小売スーパーの食品加工工場を建設する動きが多く売上減少の懸念

○商業

- 2021年1月～3月はおの恋らっきゃらっきゃ券で売上が増加していたため今期の売上が減少しました。
- イベント、旅行等がないので去年に引き続き低調です。
- 金の価格上昇により仕入価格が上昇傾向です。

○卸売業

- 材料費の高騰、ネットショップの影響で、メーカーの値上げが相次いでいる。
- 仕入材料、加工費、人件費の値上げにより利益率が低下している。

○サービス業

- 緊急事態宣言が解除になったと同時に問い合わせの電話の数が増えた。しかし、1年以上のコロナ禍で元に戻るには時間がかかりそうです。
- 今年は梅雨入りが早く、6月の売上が5月に前倒しになった感じでした。7～8月もかなり天候に左右されそう。秋の訪れが早ければ、売上が失速する可能性もあります
- 来場者の減少と売上の減少による悪化その先の見通しがたたない以前のように戻るのか不安等があります。
- コロナ禍により大幅に受注減少。地方エリアでは、受注が業種柄難しく、都市部にてBtoCによるオンラインレッスン事業を行うなど方向性を変えた事業も始める

○特産業